

# 八千代三田会

◆ 設立20周年記念誌 ◆

2018年(平成30年)3月

三田キャンパス  
幻の門から見た図書館



三田キャンパス  
福澤諭吉先生の銅像

# 目次

◆祝 辞 慶應義塾長 長谷山 彰	2
千葉県合同三田会会長 川口 幸雄	3
◆御 挨拶 八千代三田会会長 藤縄 肇	4
◆八千代三田会20年の歩み	6~8
◆記念式典（記念講演、パーティー等）、記念コンサート	9~12
◆奨学金制度、20年の歩み	13~15
◆地域貢献活動	16~
大竹和夫（八千代ヘッドライトの活動を通じて）	16
梶原潔（カヌー教室を主催 八千代から日本代表選手を）	16
加瀬卓（メディカルプラザ 加瀬外科・加瀬眼科）	17
金森重恭（ミッドナイトカウボーイズ・青春の夢）	18
瀬下和正（八千代三田会と八千代市国際交流協会）	18
田中宏行（八千代商工会議所のミッション）	19
並木真貴子（はじめまして・平成15年薬学部修出身です）	20
原弘志（私とボランティア活動）	20
原口守正（ラテンのリズムに魅せられて）	21
藤縄肇（ニューリバーロードレースin八千代に携わって）	22
大竹和夫（民生委員としての活動を通じて思う）	23
◆20年の思いで	24~
若山彰良（祝八千代三田会20周年）	24
有蘭順子（八千代三田会20年の思い出）	24
江原富男（八千代三田会創立総会の思い出とその時代、1997年・平成9年）	25
宮本敦（八千代三田会20年の思い出）	25
◆分科会活動・フリーグループ	27~
八千代サロン、ゴルフ会、歩こう会、囲碁の会、茶道部、テニス愛好会、 カラオケ愛好会、アラフォー会、三七会、緑が丘会、四一会、四四会	
◆記録集、総会、クリスマス会、会報誌、 ゴルフ会、歩こう会、八千代サロン	34~39
◆八千代三田会規約	40
◆歴代役員	41
◆会員名簿	42
◆前田統括委員長（設立20周年記念事業 - 夢、現実、希望）	43
◆設立20周年記念事業委員名簿	44
◆編集後記、協賛広告	45・46



# 祝 辞

慶應義塾長 長谷山 彰



八千代三田会が設立20周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。これまで八千代三田会を盛り立ててこられた、初代の佐々木義三会長、現在の藤縄肇会長をはじめとする会員の皆様のご尽力に深く敬意を表し、慶應義塾を代表して心からお祝い申し上げます。

八千代三田会は平成9年に慶應連合三田会855番目の三田会として設立されて以来、さまざまな活動を通して塾員相互の親睦をはかり、地域社会の発展や社会への貢献を続けてこられました。なかでも、平成11年に地域三田会による指定寄付奨学金の先駆けとして「八千代三田会奨学金制度」を創始されたことに、心より感謝しております。八千代三田会の皆さまが慶應義塾の後輩を思う温かい支援の心が全国の三田会へとひろがり、現在では20近くの地域三田会が奨学金制度を設けるに至りました。

三田会は、単に卒業生の交流、懇親の場ではなく、義塾や塾生を支援してくださっている、慶應の「社中一致」の象徴的な組織です。義塾の歴史を遡っても、西南戦争後の義塾の経営困難な時期や、大正の慶應義塾の大学部開設の頃などに、卒業生を中心とする維持会構想で、乗り切ってきました。何よりも、三田会の活動に象徴される卒業生の絆の強さ、母校に対する愛着と後輩の塾生に対する温かい思いやりは慶應義塾を支える基盤であり、慶應義塾発展への大きな原動力となっています。

義塾の創立者である福澤諭吉も「世の中にて最も大切なものは人と人との交わり付き合ひなり。これ一つの学問なり」という言葉を残しています。八千代三田会の皆さまの活動もまた、この福澤先生の理念を体現されたものであり、義塾にとって大変ありがたいものと感謝しております。

あらためて八千代三田会様の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げてお祝いの言葉とさせていただきます。

# 祝 辞

千葉県合同三田会会長 川口 幸雄



八千代三田会設立20周年記念に当たり、益々充実されつつある貴会に敬意と祝意を申し上げます。さてご高承の通り、千葉県合同三田会発祥の原点は、平成19年、貴会の設立10周年記念事業に際し、会員の皆さんから「塾長先生をお呼びしたい」との声にあります。お話を受けて、今まで正式な横の繋がりが無かった千葉県内の各地各三田会の代表の方々が、貴会の「設立10周年記念・安西祐一郎塾長講演会」に集まられました。これがきっかけとなり、千葉県合同三田会が平成20年に設立された訳であります。その後は塾員の持つポテンシャルの高さによって「安産」「安産」の連続で、今日を迎える事が出来ました。改めて千葉県合同三田会の原点であられた貴会に御礼申し上げます。

申し上げるまでもなく藤縄肇会長さんは、千葉県合同三田会・代表幹事として設立以来、当会を事実上担って下さいました。個人的にも私を10年間支えて下さいましたことに、深く御礼申し上げます。また、福田省三副会長さんが創って下さった千葉県合同三田会規約は、今日に至るまで一言の字句の変更が無く、今日の基盤になっております。当時から皆勤と云っていいご出席を下さった金森修副会長さん、エンタテイナーとして私達外部の塾員も楽しませてくれている江原富男顧問（前副会長）さん…、そして暖かいハートから醸される心暖まる時間を下さった八千代三田会の皆様…、お一人お一人のお名前は列記できませんが、10年の時間の中で新しい絆は、皆様が作って下さったものです。

一方、八千代三田会は単に塾員、社中の会としてだけではなく、地域の貢献として、八千代出身の現役塾生への「給費奨学金制度」、八千代のダークダックス「ヘッドライツ」の高齢者施設等への慰問など、コミュニティーへの連携を実践している活動は、素晴らしいものです。次なる10年間に向かって、八千代三田会の新たな変貌は楽しみの一つであります。今後の期待が大なる事をここに記し、御礼と共に20周年の祝意とさせていただきます。



# ご挨拶

八千代三田会会長 藤縄 肇



八千代三田会設立20周年にあたり一言ご挨拶申し上げます。八千代三田会は平成9年11月3日に設立総会を開催して産声を上げました。当時の鳥居泰彦塾長をお迎えし、八千代市に初めて塾旗が掲揚され、声高らかに塾歌を斉唱した感動は今でも忘れる事が出来ません。初代の佐々木義三会長が「楽しくなければ会は続かない、どうぞ皆さんで楽しい三田会にして下さい」との印象的なご挨拶がありました。八千代三田会のモットーとして、その精神は今後も伝承していきたいと思います。その2年後平成11年、慶應義塾と地域を結ぶ事業として、地域三田会として全国初の「給費奨学金制度」を創設しました。この制度は慶應義塾からも、八千代在住の塾生からも大変喜ばれ、この波が全国の三田会に広がっています。

平成19年は節目の10周年で、11月に開催した記念祝賀会には、今まで横の繋がりの少なかった千葉県内の13の三田会をお呼びし、当時の安西祐一郎塾長の記念講演を行う事が出来ました。これを機に「千葉県合同三田会」が翌年に誕生しましたが、八千代三田会がその発足に一役買う大きな役割を果たしたと言っても過言ではありません。

そして平成29年に設立20周年がやってきました。幹事会で4件の記念事業の実施を決め、この事業を軸に日頃やれなかった課題を、20周年の節目に取り組む事になりました。市内在住塾員の未加入会員へのアプローチはその活動の一部です。具体的には幹事30名が全員で手分けをして、八千代在住の未加入塾員のうち、今回は昭和に卒業した400名を対象に、郵送ではなく直接在宅訪問を行い、20周年事業を説明し協力を要請いたしました。この訪問によって三田会活動に対する叱咤激励、前向きな提案など、生の声を直接伺う事が出来ました。その上、20周年事業へのご理解ご協力を得るなど、「社中協力」の有難さを強く感じた次第であります。

知恵と体力で設立20周年事業に邁進した幹事の皆様、それに協力を惜しまなかった会員の皆様、関係者の皆様のお蔭で、4件の事業をつつがなく終える事が出来ましたことを厚く御礼申し上げます。設立20周年を契機として、八千代三田会の設立目的であります、①会員相互の親睦、②地域社会の発展に貢献、③慶應義塾への貢献、を踏まえて更なる会の発展と、楽しい三田会を目指すことをお誓い申し上げますご挨拶と致します。



# 八千代三田会20年の歩み

## ▲設立～10年

平成8年9月	八千代三田会設立発起人会が、参加者8名で開催されました
平成9年9月	八千代三田会設立準備会が、参加者29名で開催されました
平成9年11月	八千代三田会設立総会が勝田台グランドホテルにて、105名が参加して開催されました。鳥居泰彦塾長（当時）の記念講演のあと、初代会長に佐々木義三氏が選任され、慶應義塾連合三田会から第855番目の三田会として加盟が認められました
平成10年5月	第1回定期総会が八千代台エルムサロンにて、67名が参加して開催され、これ以降毎年6月に総会が開催されています
平成10年12月	第1回クリスマス会がウイッシュトンホテルにて開催され、これ以降毎年12月にクリスマス会が開催されています
平成11年4月	八千代三田会奨学金制度が発足し、第1回奨学生として上野耕嗣君（医学部6年）に授与されました。この制度は地域三田会による慶應義塾学生奨学金制度の第1号として全国に先駆けて発足し、現在では17の地域三田会に普及、拡大しています
平成19年3月	設立10周年を記念して市民チャリティーゴルフ大会が総武カントリーにて、199名が参加して開催されました。収益金として八千代市福祉協議会へ福澤諭吉先生の著作を含む図書50冊を寄贈しました
平成19年11月	設立10周年記念パーティーがウイッシュトンホテルにて開催され、安西祐一郎塾長（当時）から講演を頂きました。県内13の地域三田会から151名の参加があり、翌20年2月の千葉県合同三田会が発足する契機になりました

設立～10年に開催された主な分科会活動、イベントは次の通りです

ブームス会（後に八千代サロン）、福澤先生著作読書会、ゴルフ会、歩こう会、囲碁の会、三七会、パソコン教室、花火会、ワインを楽しむ会、サッポロビール千葉工場見学会、東あられ本舗工場見学、ハゼ釣り会、ラグビー慶早戦観戦、ボーリング大会、飯沼本家酒造見学会、横浜中華街訪問、そばの会



設立総会写真



佐々木初代会長挨拶



鳥居塾長挨拶



安西塾長講演



▲設立10～20年

平成20年2月	千葉県合同三田会設立総会が開催され、初代会長に千葉三田会・川口幸雄会長が、また代表幹事に八千代三田会・藤縄肇会長が選任されました
平成20年6月	第11回定期総会が八千代台エルムサロンにて開催され、これ以降毎年6月に総会が開催されています
平成20年7月	千葉県合同三田会が主催した大学キャンパスめぐりが行われ、湘南藤沢、日吉、矢上、三田のキャンパスをバスで回りました。八千代三田会から参加の29名を含め、165名が参加しました
平成20年11月	慶應義塾創立150周年記念式典が、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、日吉キャンパスにて開催されました。八千代三田会を代表して藤縄肇会長、江原富男副会長が参列しました
平成20年12月	千葉県合同三田会設立を記念して、ダークダックスコンサートが千葉県文化会館にて開催され、八千代少年少女合唱団とのコラボレーションが実現しました
平成20年12月	クリスマス会がボーリング大会に引き続き、エルムサロンにて開催され、これ以降毎年12月にクリスマス会が開催されています
平成22年2月	千葉県合同三田会総会が幕張ホテル・ザ・マンハッタンにて、250名が参加して開催され、清家篤塾長（当時）より講演を頂きました。八千代三田会茶道部が、清家塾長と慶應連合三田会・服部禮次郎会長に立礼式でお茶のお点前を披露しました
平成24年10月	八千代三田会設立15周年記念事業として三田キャンパス・ファカルティクラブで、42名が参加してクリスマス会が開催されました。慶應義塾大学ライトミュージックソサィエティがゲスト参加されビッグバンドの演奏が披露されました
平成27年10月	幹事会で平成29年に八千代三田会設立20周年記念事業を開催することが決まりました
平成28年6月	第19回定時総会が開催され、設立20周年記念事業の実施が承認され、実行委員会が発足し、前田敏委員長が選任されました



平成22年2月千葉県合同三田会総会 清家塾長、服部連合三田会会長



八千代三田会によるお点前

平成29年5月	千葉県合同三田会の設立10周年記念祝賀会が浦安ブライトンホテル東京ベイにて、八千代三田会から参加26名を含め267名が参加して開催され、清家篤（当時）塾長より祝辞を頂きました
平成29年6月	第20回定時総会が開催され設立20周年記念事業の内容が承認され、四委員会が発足し、前田敏総括委員長が選任されました 幹事27名が八千代市内に在住で三田会に未加入の会員400名を対象に個別訪問を行い、設立20周年事業への参加を呼びかけました。その結果、新たに13名の塾員が八千代三田会に加入しました
平成29年10月	八千代三田会設立20周年記念事業として、402名が参加して八千代市民会館にて慶應義塾大学ライトミュージックソサイエティのコンサートが開催されました。八千代市在住のバイオリニスト石川寛子さんと、八千代市出身で慶應卒のジャズボーカリスト石川早苗さんの二人がゲスト出演しました
平成29年11月	八千代三田会設立20周年記念事業として、140名が参加してウッシュトンホテルにて記念パーティーが開催されました。記念式典、奨学金授与式に続き、読売新聞特別編集委員・橋本五郎氏の記念講演がありました。懇親会では、八千代少年少女合唱団の合唱が披露され、慶應義塾大学応援指導部・チアリーダーのエールがありました。会場では文化・芸術展の一環として、三田会員による篆刻、能面、モデルシップ、絵画、等の作品が展示され、ロビーでは写真展と、茶道部により呈茶席が設営され「おもてなし」の接待がありました
平成30年3月	八千代三田会設立20周年記念事業として、記念誌が発行され、長谷山彰塾長より祝辞のご執筆を賜りました

設立10年～20年に開催された主な分科会活動は次の通りですが内容は分科会のレポートをご覧ください

八千代サロン、ゴルフ会、歩こう会、囲碁の会、茶道部、テニス愛好会、カラオケ愛好会、アラフォー会、三七会、緑が丘会、四一会、四四会



第20回定期総会



クリスマス・ディナーコンサート  
(三田キャンパス、ファカルティホール)



立川談慶師匠（塾員）落語



奨学金授与 清水恵介君、福島志保君



石川寛子さんバイオリン演奏



3校対抗ゴルフ



# 八千代三田会設立20周年記念パーティー

11月23日ユーカリが丘ウィシュトンホテルに於いて八千代三田会設立20周年記念パーティーが出席者140名にて盛大におこなわれました。



## 第一部 設立20周年記念式典・講演会

第一部は司会有蘭順子さんの紹介で、慶應義塾応援指導部のリードによる塾歌斉唱により開始されました。まずは主催者藤縄肇会長の挨拶があり、平成9年設立当時の感動、10周年記念パーティーの思い出、そして20周年にあたっての2年前から30名の幹事の周到な準備があって今日を迎えられたこと、今後とも八千代三田会を楽しみ集いにしたいとお話がありました。引き続き、ご来賓の挨拶として慶應義塾大学駒村圭吾常務理事・千葉県合同三田会川口幸雄会長のお二人に祝辞を戴きました。次に奨学金授与式が行われ、福田省三副会長からの紹介で塾生が壇上に上がり、藤縄会長から2名に奨学金が授与されました。次に読売新聞特別編集委員橋本五郎氏の記念講演が行われました。テーマは『どうなる日本の政治』。「政治にとって大切なものは心。政治とは思いやり。今こそ王道の政治を期待したい!」という論説を、秋田の田舎の貧しい生活の中で懸命に子供達を育ててくれた自身の母の教え=「①全力で事にあたれ②謙虚であれ③どんな人でも自分より優れたところを見よ!さすれば好きになる」を引合いに出して楽しくご講演戴きました。会場からは笑いが絶えず、またお母様のご苦労・奮闘話にどこからかすすり泣きも聞かれました。

## 第二部 懇親会

第二部は会場を移し懇親パーティーが開かれました。前田敏統括委員長の挨拶をはじめ、ご来賓の紹介があり、連合三田会落合正行副会長の乾杯のご発声で懇親会は開始されました。アトラクションとして八千代少年少女合唱団の清らかで美しい歌声に心洗われる思いがしました。歓談の後、慶應義塾大学応援指導部・チアリーダーのエールがあり、全員で肩を組んで「若き血」を大合唱しました。江原富男顧問の音頭により中締めが行なわれました。 (金森 重恭 記)





記念式典で挨拶する藤縄会長



塾を代表して駒村常務理事の祝辞



千葉県合同三田会 川口会長の祝辞



現役応援指導部の先導で塾歌斉唱



藤縄会長から櫻井君に奨学金を授与



橋本五郎氏の講演



式典全体



連合三田会 落合副会長の乾杯



御来賓



長岡先生指揮による八千代少年少女合唱団の歌声が会場に響く



塾長からの献花



前田統括委員長の挨拶



新入会員紹介



江原顧問から中締め挨拶



チアリーダーの元気な舞台



司会有菫副会長



福田副会長が現役塾生を紹介



肩を組み「若き血」の大合唱



会員テーブル



会員テーブル



会員テーブル



# 八千代三田会設立20周年記念コンサート

◇慶應義塾大学ライトミュージックソサイエティ◇

10月21日八千代市市民会館にて八千代三田会設立20周年を記念して、慶應義塾大学ライトミュージックソサイエティのコンサートが開催されました。八千代市在住のバイオリニスト石川寛子さんと、勝田台小・中学出身で慶應卒のジャズボーカリスト石川早苗さんの二人がゲスト出演しました。コンサート開催の狙いは「①現役で実力も人気もナンバーワンの学生バンドを八千代市に招待する②八千代市内の6つの高等学校のブラスバンド部員を招待する③八千代市の一般市民にも案内し慶應を親しく感じてもらい、楽しんでもらい地域に貢献する」などの目的です。ビッグバンドの塾生による若さ溢れる素晴らしい演奏と、魅惑的なバイオリンの音色と歌声のコラボレーションに400名を超える満席のお客様は酔いしれていました。

(金森 重恭 記)



現役塾生による迫力あるビッグバンド演奏



塾生による熱演が続きます



石川早苗さん



石川寛子さん



満員のお客様は演奏を堪能



演奏後の花束贈呈、お疲れさま



# 慶應義塾大学奨学金制度、地域三田会による奨学金制度第1号 八千代三田会奨学金制度・20年の歩み

福田 省三（昭和40年商卒）

八千代三田会の慶應義塾学生奨学金は、八千代三田会設立の2年目である1999年（平成11年）より開始され、19年間にわたり、毎年1名の塾生に、また設立5年目、10年目の節目年にはお二方の塾生に授与してきました。平成29年は設立20周年の節目年ですので、お二方に授与となりました。これまでに奨学生として選ばれ、奨学金を授与された塾生は、延べ23名（別表の通り）になりました。当会の目的は、①会員相互の親睦、②地域社会の発展に貢献、③慶應義塾への貢献であり、奨学金制度はこのうち②③を適えるものであります。設立2年目の平成11年に地域三田会として初めて、奨学金制度の実施を慶應義塾に提案し、「慶應義塾大学指定寄附奨学金制度」の中の「地域三田会奨学金制度」の第1号として取り上げて頂きました。

八千代三田会が先駆者となり創始した「地域三田会奨学金」はその後、全国17の地域三田会に普及、拡大しております。毎年9月、三田キャンパスにおいて奨学金授与証交付式が行われますが、この式典のなかで地域三田会奨学金の第1番目に、必ず八千代三田会が紹介されるという特別の栄誉を、毎回授かっております。これも偏に、八千代三田会の設立当初の会員の皆さんの先見性と、現在まで脈々と浄財をご寄付頂き続けている皆さんの崇高な志の賜物として、心より敬意を表させていただきます。また奨学生のご父兄になり代わりまして厚くお礼申し上げる次第です。設立20周年記念誌の発行に当り、奨学生の皆さんに寄稿文をお願いしましたところ、多くの方々から寄稿文をお寄せ頂きました。記念誌にはそのうち、直近に授与した奨学生3名の方々の寄稿文を掲載させていただきますのでご高覧ください。



平成28年藤縄会長より周郷さんへ奨学金が授与される

## 奨学生の声

---

### 周郷 万里菜（大学院経済学研究科修士2年）

生まれも育ちも八千代市なので、八千代は思い入れの深い場所です。小、中学校ともに八千代の学校で学び、同級生と花火大会に行き、ふるさと音頭を踊ったことは楽しい記憶として残っています。今は新しくできた八千代市立図書館をよく利用しているので、八千代市にはとても感謝しております。いつか恩返しができればと思っています。慶應では授業や留学、サークルを通して様々な人々に出会えました。大学で出会った人々のおかげで今の自分があります。視野を広げてくれた出会いと大学生活に感謝しています。今後も引き続き三田キャンパスで勉学に励み、新しい思い出を創っていこうと思っています。大学生活は人それぞれ異なると思いますが、基本的に何をしても本人の自由です。後輩の皆さんは、自分にとって楽しく、情熱を注げられることを見つけたら、がむしゃらにそれに向かって行ってほしいと思います。八千代三田会の皆さんはとても優しい方々ばかりで、新参者の私にも温かく接してくれて、有難かったです。今後とも宜しくお願い致します。

### 望月 春香（大学院経営管理研究科修士2年）

八千代市に生まれ村上ひかり幼稚園と村上北小学校に通いました。当時村上北小学校は縄跳びに力を入れており、小学校1年生で二重跳び100回を跳ぶ記録を持つ元気な小学生でした。その後父の転勤により、東京都東村山市に家族で引っ越し、公立の小中学校を経て、私立文系大学で社会心理学を専攻しました。社会人経験を積んだのち、経営について学び直したいと、現在、経営管理研究科、通称、慶應ビジネススクールに通っています。八千代三田会様から頂いた奨学金は、慶應の国際センターを通じて応募した、ウィーン経済・経営大学への短期留学費用の一部に充てました。平成29年7月から8月の6週間、ウィーン経済・経営大学のMBAのサマーコースで、グローバルマーケティングや、国際人材開発論を学んでまいりました。あまり知られていないことですが、東欧と西欧の中心に位置するオーストリアは、スタートアップ投資が盛んな国です。グローバルビジネスの活気があふれる街で、貴重な経験ができました。慶應ビジネススクールの学びだけではなく、今回の海外留学を今後のキャリアに活かし、慶應義塾の卒業生として、また八千代三田会の奨学生として、社会に貢献できる人材として成長したいと考えております。

### 櫻井 滉佑（大学院理工学研究科修士1年）

先日は八千代三田会20周年記念式典にお招きいただき、誠にありがとうございました。八千代幼稚園、大和田南小学校、八千代中学校、八千代松陰高校と高校卒業までずっと八千代市で過ごし、サッカー熱心な少年でした。現在は所属する開放環境科学専攻の研究室で、炭素系薄膜材料を太陽電池に応用する研究を行っています。





## 三七会



平成17年9月、昭和37年卒で三田会に会員登録をただけで、疎遠の会員がいたことから、懇親を深めようと皆に呼び掛け、三七会が発足しました。現在9名の会員で年3回、勝田台の居酒屋で午後5時から8時まで開催しています。和気あいあいとした雰囲気、時間が経つのが分からないくらい、色々話がはずみます。三田会の有難さ、絆の大切さを実感しています。

## 緑が丘会



平成19年、崎山隆靖君（昭和37年商卒）、金森修君（昭和46年経卒）が中心となり、緑が丘駅近辺に在住の会員14名で緑が丘会が発足しました。その後会員の枠を広げ、現在の会員数は24名で、年3回緑が丘駅近くのダイニングバー・狐里庵で例会を開催しております。「身近なところで、身近な話題を、気軽に」をモットーに懇親を深めております。平成29年八千代三田会設立20周年記念事業の活動を通じ4名の新会員の方々に加入頂きました。

## 四一会

平成24年、池誠君（昭和41年法卒）の三田会入会に伴い、昭和41年卒5名の懇親を深めようと四一会が発足しました。メンバーは法律が4名、商が1名で法律に偏っておりますが、六法全書のような堅いイメージはなく、通称・良い酔い会で下戸は一人もおりません。年2回、当三田会会長の藤縄肇君（昭和41年商卒）を中心に懇親を深めております。





# 記 録 集

## ●総 会（会場：エルムサロン）

開 催	内 容（ゲスト、アトラクション）
11回H20.6	八千代稲門会の三谷大和氏が「八千代から世界チャンピオンを」と題して講演しました
12回H21.6	平成20年11月8日日吉キャンパスで開催された慶應義塾創立150周年記念式典のDVDが上映されました
13回H22.6	能楽師シテ方観世流九世・橋岡久太郎氏が「天下人が愛した能楽」と題して講演しました
14回H23.6	八千代市立村上北小学校元校長・小林千代美氏が「八千代の民話、昔話」と題して講演しました
15回H24.6	八千代三田会員で医学部卒の加瀬卓医師が「生活習慣病の予防と対策」と題して講演しました
16回H25.6	塾文学部卒の磯貝勝太郎氏が「グローバルな視点を持つ国民作家、司馬遼太郎」と題して講演しました
17回H26.6	人材教育コンサルタントの山形琢也氏が「自分の人生、自分が主演」と題して講演しました
18回H27.6	いすみ鉄道株式会社社長・鳥塚亮氏が「いすみ鉄道、社長ブログ」と題して講演しました
19回H28.6	設立20周年記念事業が承認されました。塾員の若林鶴雲氏が「出陣学徒壮行最後の早慶戦」と題して講演を披露しました
20回H29.6	八千代稲門会の三谷大和氏が「諦めない心、千葉八千代から世界チャンピオンを」と題して講演しました

## ●クリスマス会（会場：エルムサロン）

開 催	内 容（ゲスト、アトラクション）
11回H20.12	塾文学部卒の歌手水織ゆみさんがシャンソンを披露しました
12回H21.12	塾出身唯一の落語家の立川談慶師匠が落語を披露しました、また八千代市在住の石川寛子さんがバイオリン演奏を披露しました
13回H22.12	全員塾員によるハワイアンバンドのアイランドブリーズがハワイアンとフラダンスを披露しました
14回H23.12	目黒三田会員の歌手深江ゆかさんがシャンソンを披露しました。また八千代三田会員によるコーラスグループのヘッドライトが歌を披露しました
15回H24.12	今回は三田キャンパスで開催、八千代三田会設立15周年を記念して三田キャンパスでビッグバンド、慶應義塾大学ライトミュージックソサエティが演奏を披露しました
16回H25.12	八千代三田会員の金森重恭さんのカントリーバンド、ミッドナイトカウボーイズがカントリーを披露しました
17回H26.11	八千代市在住の石川寛子さんがバイオリン演奏を、また長谷川美佐子さんがピアノ演奏を披露しました



18回H27.12	八千代三田会員の金森重恭さんのカントリーバンド、ミッドナイトカウボーイズがカントリーを披露しました。また八千代三田会員によるコーラスグループのヘッドライトが歌を披露しました
19回H28.12	塾文学部卒の歌手水織ゆみさんがシャンソンを披露しました
20回H29.11	ウィシュトンホテルで八千代三田会設立20周年記念パーティーとして開催しました

### ●会報誌

発行	主な内容
21号H19.12	設立10周年記念パーティー開催、千葉県合同三田会誕生
22号H20.7	第11回定期総会開催、千葉県合同三田会設立総会開催
23号H21.2	千葉県合同三田会設立記念・ダークダックスコンサート
24号H21.8	第12回定期総会開催、新年度役員名簿
25号H22.2	千葉県合同三田会主催・清家篤塾長講演会
26号H22.8	第13回定期総会開催、分科会活動
27号H23.2	クリスマス会開催、分科会活動
28号H23.7	第14回定期総会開催、新年度役員名簿
29号H24.2	クリスマス会開催、分科会活動
30号H25.2	設立15周年記念パーティーが三田キャンパスにて開催
31号H25.7	第16回定期総会開催、新年度役員名簿
32号H26.2	クリスマス会開催、分科会活動
33号H26.7	第17回定期総会開催、分科会活動
34号H27.7	第18回定期総会開催、新年度役員名簿
35号H28.7	第19定期総会開催、設立20周年記念事業の承認
36号H29.7	第20定期総会開催、設立20周年記念事業の紹介

●三校対抗戦

回	年月日	場 所	参加者	優勝	第2位	第3位
1	H13.11.16(金)	八千代G C	9組35名	稲門会	三田会	駿台会
2	H14.11.22(金)	新千葉C Cつくも	8組29名	稲門会	三田会	駿台会
3	H15.10. 2(金)	桜G C	9組34名	三田会	稲門会	駿台会
4	H16.10.8 (金)	東成田C C	10組40名	三田会	稲門会	駿台会
5	H17.10.28(金)	ダイナシティG C成田	9組33名	稲門会	稲門会	三田会
6	H18.10. 3(金)	桜G C	10組39名	稲門会	稲門会	三田会
7	H19.10. 3(水)	桜G C	9組35名	三田会	稲門会・駿台会	
8	H20.10.24(金)	香取C C	9組35名	三田会	駿台会	稲門会
9	H21.10. 2(金)	神崎C C	11組43名	稲門会	三田会	駿台会
10	H22.10. 1(金)	神崎C C	13組51名	稲門会	三田会	駿台会
11	H23.10.19(金)	香取C C	11組41名	稲門会	三田会	駿台会
12	H24.10. 5(金)	総武印旛	14組55名	稲門会	三田会	駿台会
13	H25.10. 4(金)	総武印旛	13組52名	三田会	稲門会	駿台会
14	H26.10.23(木)	香取C C	13組49名	雨で中止		
15	H27.10. 1(木)	総武印旛	12組44名	稲門会	三田会	駿台会
16	H28.10. 6(木)	総武印旛	11組42名	三田会	稲門会	駿台会
17	H29.10. 5(木)	総武印旛	10組37名	三田会	稲門会	駿台会

●佐倉三田会対抗戦

回	年月日	場 所	参加者	優勝
1	H16. 3.12(金)	習志野C Cクイーン	7組26名	八千代三田会
2		雨で中止		
3	H18. 3.10(金)	八千代G C	8組31名	八千代三田会
4		八千代三田会10周年の為中止		
5	H20. 3.28(金)	新千葉C Cつくも	5組20名	佐倉三田会
6	H21. 3.27(金)	季美の森G C	7組28名	八千代三田会
7	H22. 4. 9(金)	季美の森G C	8組31名	八千代三田会
8	H23. 4. 1(金)	東日本大震災の為中止		
9	H24. 3.28(金)	泉C C	8組31名	佐倉三田会
10	H25. 3.26(火)	泉C C	8組31名	八千代三田会
11	H26. 4. 4(金)	泉C C	9組33名	八千代三田会
12	H27. 4. 3(金)	泉C C	8組32名	八千代三田会
13	H28. 4. 8(金)	泉C C	6組24名	佐倉三田会
14	H29. 4. 7(金)	泉C C	7組28名	八千代三田会



## ●歩こう会

年月	《行き先》	年月	《行き先》	年月	《行き先》	年月	《行き先》
H20.3	小松川千本桜鑑賞	H23.3	ユーカリが丘散策	H26.3	加曾利貝塚散策	H29.3	佐倉七福神と佐倉城址公園
4	松戸市散策	4	両国・早稲田	4	神宮外苑散策	4	柴又から里見公園
5	町屋から荒川	5	泉自然公園散策	5	21世紀の森公園	5	レインボーブリッジからお台場公園
6	堀切菖蒲園周辺	6	堀切菖蒲園	6	伊能忠敬旧宅周辺	6	水元公園散策
7	船橋海老川散策	7	木更津散策	7	花見川周辺散策	7	隅田川舟遊び
8	21世紀の森散策	8	船橋海老川散策	8	上小岩親水公園周辺	8	暑気払い
9	日本橋・両国	9	なぎさ公園散策	9	鎌ヶ谷大仏周辺散策	9	スカイツリー周辺
10	旧江戸川散策	10	千葉市内散策	10	西新井大師周辺散策	10	佐倉長嶋記念館
11	浅草周辺散策	11	大手町散策	11	成田空港周辺散策	11	本土寺で紅葉鑑賞
12	成田山散策	12	品川宿散策	12	日本橋から両国	12	築地・月島・佃島
H21.3	花見川散策	H24.3	花見川から海岸へ	H27.3	勝田台駅周辺散策		
4	王子散策	4	松戸本土寺散策	4	神楽坂から大隈庭園		
5	京成千原沿線散策	5	江東区散策	5	大森台付近散策		
6	お花茶屋小菅散策	6	ユーカリが丘ラベンダー	6	浅草周辺散策		
7	東金市周辺散策	7	花畑記念公園散策	7	谷津干潟周辺散策		
8	東京大仏周辺	8	利根運河散策	8	暑気払い		
9	我孫子曙の公園	9	木下街道散策	9	風土記の丘		
10	市川・松戸散策	10	神楽坂散策	10	池上本門寺散策		
11	臼井八景散策	11	本佐倉城址散策	11	妙蓮寺周辺散策		
12	築地場外市場	12	木場から浜離宮	12	暮れの新宿散策		
H22.3	飛び台史跡公園	H25.3	八千代台周辺散策	H28.3	アンデルセン公園		
4	甚平衛橋付近	4	印旛沼散策	4	里見公園・帝釈天		
5	池田山公園目黒	5	江戸川駅から柴又	5	千葉花の公園周辺		
6	利根運河散策	6	昭和記念公園	6	根岸・谷中散策		
7	浦安散策	7	矢切の渡し	7	宗吾霊堂周辺散策		
8	石神井公園散策	8	西新井大師散策	8	暑気払い		
9	中山競馬場付近	9	六義園散策	9	スカイツリー周辺		
10	アンデルセン公園	10	成田空港周辺散策	10	佐倉ふるさと広場周辺散策		
11	花の美術館	11	大町自然公園散策	11	六義園小石川植物園		
12	東京都庁展望	12	早稲田大久保散策	12	暮れの神田周辺		

# 八千代三田会規約

## 第1条 (名称と目的)

本会は八千代三田会と称し、次の事項を目的とする。

- 1 本会を通じて会員相互の親睦をはかる。
- 2 本会を通じて地域社会の発展に貢献する。
- 3 給費奨学金制度を通じて母校慶應義塾大学に貢献し、現役塾生を支援する。

## 第2条 (会員資格・退会)

本会会員は、八千代市内に在住あるいは勤務する塾員及び本会の目的に賛同する塾員とする。本人の申し出ある場合及び2年間会費未納の場合は退会とする。

## 第3条 (役員)

本会には次の役員を置く。

- |         |     |            |
|---------|-----|------------|
| 1 会長    | 1名  | 会を代表する。    |
| 2 副会長   | 若干名 | 会長を補佐する。   |
| 3 代表幹事  | 1名  | 会務を総括する。   |
| 4 副代表幹事 | 若干名 | 代表幹事を補佐する。 |
| 5 会計    | 2名  | 会の経理を管理する。 |
| 6 会計監査  | 2名  | 会の会計を監査する。 |

## 第4条 (役員任期)

役員の内任期は2年とする。ただし留任は妨げない。

## 第5条 (幹事)

本会には、会務遂行のため幹事を置くことができる。

## 第6条 (顧問及び相談役)

本会には、必要に応じて顧問及び相談役を置くことができる。

## 第7条 (幹事会)

代表幹事は、必要に応じて幹事会を開催することができる。

## 第8条 (総会)

総会は年1回開催する。ただし会長が必要と認めた場合は、臨時総会を開催することができる。

## 第9条 (総会の議決事項)

1. 予算及び決算
2. 役員選出並びに承認
3. 規約の改廃
4. その他の重要事項

## 第10条 (総会の議決)

総会の議決は出席者の過半数をもって決し、賛否同数の場合は議長の決するところによる。ただし規約改正には出席者の3分の2以上の賛成を得ることを要す。

## 第11条 (会計及び会計年度)

1. 本会の会計は会費、寄付金、及びその他の収入によって賄う。
2. 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。

## 第12条 (会費)

会費は1名(世帯)につき年間3,000円とする。

## 第13条 (事務局)

本会の事務局は代表幹事宅に置く。やむを得ない場合は、会長の指名により、他の会員宅を事務局とすることが出来る。

1997年11月制定、  
2000年6月改正、  
2017年6月第2回改正

結果は、自画自賛となりますが大成功でした。慶應義塾大学ライトミュージックソサイエティによる記念コンサートは、集客目標通り参加者402名と満員の盛況で、八千代の皆さんにもとても喜んでいただきました。記念式典、講演会、そして記念パーティーには、目標を上回る140名の参加者を得て、同時開催した文化・芸術展も好評でした。特に嬉しかったのは、「こんなに良い雰囲気のパartyはなかなかないよ」とゲストの方からお褒め頂いたことです。

地域貢献についてはまだ道半ばですが、これを契機に色々と考え、実行して行く必要があると考えています。今回の記念事業に関わる活動を通じて、八千代三田会の結束力が一段と高まったと実感しています。今まで、なかなか新会員が増えていませんでしたが、今回の積極的な働きかけの結果、13名もの新会員を迎えることが出来ました。これからも魅力的な三田会を目指して皆で楽しく力を合わせて行きたいと思います。

## 設立20周年記念事業 実行委員会・委員名簿

- ◆統括委員長：前田 敏
- ◆記念コンサート実行委員会  
委員長：原口守正  
副委員長：渡邊 等  
委員：島津忠之・越川秀一・永井瑞枝
- ◆記念パーティー実行委員会  
委員長：金森 修  
委員：福田省三・大竹和夫・若山彰良・吉川和夫
- ◆文化・芸術展委員会  
委員長：白井邦夫  
委員：崎山隆靖・佐藤忠・小野寺輝孝・石渡 徹
- ◆記念誌編集委員会  
委員長：瀬下和正  
委員：兵頭宏基・金森重恭・有蘭順子・宗像 章



## 編集後記

編集委員長 瀬下和正（昭和44年商卒）

八千代三田会20周年記念にあたり、最後の事業として、この記念誌を皆さんにお届けできる事を嬉しく思います。祝辞を賜りました長谷山彰慶應義塾長をはじめ、ご執筆頂いた多くの方々に、編集委員を代表して感謝申し上げます。また協賛頂いた多くの会社、グループにお礼を申し上げます。

この記念誌には20年の歴史を顧みて、20年の記録、思い出を掲載すると同時に、この10年間の活動記録を出来るだけ詳しく掲載することができました。また八千代三田会の地域貢献として、慶應義塾学生奨学金制度の紹介、記録とともに、多くの会員による地域貢献活動を紹介しています。ボランティア活動が主ですが、これ以外に医師、薬剤師、市議会議員、商工会議所等の専門職で地域貢献にご活躍の方々にもご執筆頂きました。八千代市内でこんな方が、こんな活躍をしているのかと興味を持って頂けたら幸いです。

編集に不慣れな委員が多い中、お二人の印刷会社経営者が委員で参加され、適宜的確な助言を頂きこの冊子の完成になりました。編集委員の皆さん、オブザーバーで参加の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

八千代三田会はこれから先も末永く続きます。この冊子の読本を契機に、八千代市にお住まいで若い世代の塾員の皆さんの、八千代三田会への積極的な参加とご活躍を期待します。



八千代三田会設立20周年記念誌

発行日 2018年(平成30年)3月20日

発行人 八千代三田会会長 藤縄 肇

編集人 設立20周年記念誌編集委員会

デザイン・印刷・製本 株式会社 技秀堂





三田キャンパス 三田演説館

表紙の題字「八千代三田会」は、神子昌子君（平成15年文卒）の書です  
表紙の篆刻「独立自尊」は、佐藤忠君（昭和40年商卒）の刻です  
表2・3の写真は、渡邊等君（昭和49年経卒）の撮影です

